

## 後ろ向きに考えがちなことの中に

いよいよ最後のメッセージになりました。これまでいくつのメッセージを書いてきたのでしょうか。担任時代から毎日黒板にメッセージを書いてきたので、それを合わせると、とんでもない数になっているような気がします。

私が黒板にメッセージを書き始めたのは、約三十年前からです。当時私が受けもっていた学級には、精神的に不安定な生徒が数名いて、教室を荒らして帰っていききました。下校後に乱れた教室に足を運び、整頓や掃除をしてから黒板に書いていた一行メッセージが始まりました。それが徐々に長くなり、気付いたら黒板の右端から左端までのメッセージになっていました。

教室を乱した生徒たちには、当然腹が立ちました。私が目を離したすきに荒らすので、現場を押さええて怒鳴ってやろうかとも思いました。しかし、それは火に油を注ぐようなものだと考え、根比べを選択しました。必然的にメッセージは毎日続きました。

今から考えると、その生徒たちがいなかったら、私のメッセージは生まれていなかったかもしれません。書くのは面倒だと思っていた自分が、書くことが好きな自分になれなかったかもしれません。抵抗なく文章が書けるようになった今は、その生徒たちに感謝したいと思っています。

今も終息を見ない新型コロナ感染症。そのせいで、休校、制限、感染対策などがこれまで必須となり、正常な日常生活が送れなくなりました。その中でも、年度をまたいで三カ月も続いた休校は、教育の危機すら予感させました。皆さん、覚えていますか。

この時です、私のメッセージが復活したのは。家にいる生徒たちに何とか話しかけたい！その思いから「校長メッセージ」が生まれ、それを毎日ホームページに掲載したのです。そして、タブレットの支給と共に、その舞台の中心が「学びポケット」となりました。

厄介な「教室を乱す生徒たち」や「新型コロナウィルス感染症」が私の前に立ち上がったから、私はその状況を何とかしようともがき苦しみました。そして、それが今の私につながりました。

予定外のこと、歓迎しないこと、苦しいこと、面倒なこと、そういう後ろ向きに考えがちなことの中に、自分を伸ばす秘密が隠されています。「ピンチはチャンス」という言葉もあるように、ピンチの中からチャンスを見つけ、そんな令和四年度にしてくださいね。

このメッセージをホームページに掲載するようになってから約二年が経とうとしています。そして、閲覧カウンターの数字は五万六千人に達しようとしています。多くの方にアクセスをいただきましたことに、深く感謝するとともに、今後の瑞浪北中の発展に、ますますご期待くださいますようお願いいたします。

これにて、私の「校長メッセージ」を終了させていただきます。長らくのお付き合い、ありがとうございました。（三月二十五日 記）